事例No.	2163
公表年度	R4
団体の属性	都道府県
団体名	山形県

事例区分	DX

タグ	・福祉・介護 ・ICT

事例種類	孤独・孤立対策

事例内容・タイトル

SNSを活用した自殺対策のための相談体制の整備

出典

地域社会のデジタル化に係る参考事例集【第2.0版】

183 SNSを活用した自殺対策のための相談体制の整備【山形県】

事業の概要

○ 「生きるのがつらい」「コロナ禍で気分が沈む」など、心の健康に悩みを抱える県民の心のケアのため、新たにLINEを活用した相談窓口を開設し、相談体制の充実を図った（R3.9.1～）。

○ LINEアプリで友達登録を行うと相談が可能（予約不要・匿名可能・相談無料）で、相談時間は毎日18時30分～22時までとなっている（年末年始を除く）。

○ 相談窓口は同種事業実績のある民間企業に委託しており、公認心理師や精神保健福祉士、社会福祉士等の資格を有し、必要な研修を受けた相談員が対応している。



【参考情報①】 人口：107.0万人
関連URL：
https://www.pref.yamagata.jp/090014/kenfuku/fukushi/jisatsutaisaku/linesoudan.html（山形県HP）

【参考情報②】新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金
交付金（内閣府）とは
URL：https://www.chisou.go.jp/tiiki/rinjikoufukin/index.html

もっと知りたい！ 担当者にインタビュー


（総務省）

取組の経緯・きっかけを教えてください。

令和２年は全国的に自殺者数が増加し、特に女性や若い世代の増加が目立ちましたが、本県でも同様の傾向になりました。このため、従来の対面や電話等での相談に加え、LINEを利用した窓口を設置し、若い世代の方々が相談しやすい環境を整備することとしたものです。


（山形県）



導入又は実証時において、国又は都道府県の支援制度（人的支援や技術提供、補助金等）を活用しましたか？



令和３年度については、内閣府の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用しました。



事業の近況はいかがですか？



令和３年度（９～３月）の相談実績は約700件で、30代以下が全体の約７割、女性が全体の約８割を占めました。この結果からも、対面や電話を避ける傾向がある若い世代等が比較的気軽に相談できる窓口としての設置効果はあったものと考えております。

★担当：山形県健康福祉部 地域福祉推進課★

令和3年度事業費　13,365千円
（うち、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（内閣府）　13,365千円）